



今回はオーストラリアの老後生活について紹介します。ケアンズで私の実家の近所に住む70代の夫婦にお話を聞きました。夫のテッドさんは航空会社で27年間勤務していましたが、当時の定年は65歳のところ、56歳で早期退職しました。妻のソンドラさんは、出産を機に会社を退職し19年間専業主婦をした後、再び働き、52歳で退職しました。日本では、夫の退職に妻は「家計は大丈夫かしら」などと心配すると思いますが、ソンドラさんは不安はなかったそうです。退職すると、仕事から解放されて趣味に没頭できる時間が増えますよね。オーストラリアでは、退職のそういった面に目を向け、不安よりも老後生活を楽しみにする人が多いと思います。



▲夫婦で老後生活を送るテッドさん(左)とソンドラさん(右)

テッドさんは仕事中にけがをし、一時は歩くこともできませんでした。今では車の運転もできるようになりました。ソンドラさんは、毎日の食事の支度・洗濯などの家事をこなしながら、週2回運動をしています。趣味は水彩画・油絵・縫い物・工芸で、暇を見つけては作品を作っています。ケアンズ産業文化まつりの美術展で1位になったこともあるそうです。そんな2人の共通の楽しみは月に1回程度の外食だそうです。

また、国の高齢者向けサービスが充実しており、草刈り・水道の修理・電気配線などを要介護度に応じた少しの負担で業者に頼むことができるので、安心して老後生活を送ることができます。

2人は「老後生活は楽しく、いずれは食べ物のおいしいタスマニア州のホバート市に住んでみたい」と話します。オーストラリアの老後生活は日本と似ていますか？

料金受取人払郵便

大府郵便局
承認

747

差出有効期限
平成31年4月30日まで
(切手を貼らずに
お出してください)

郵便はがき

4 7 4 8 7 9 0

〈受取人〉
大府市役所
広報広聴課 行



広報おおぶ「みんなの声」専用はがき

年齢 / 歳 性別 / 男・女

広報おおぶの今後の編集や企画に生かしていきたいと思っています。
ご意見をお聞かせください。

広報広聴課 ☎(45)6214

「みんなの声」使い方

- 1 広報紙から切り取ってください。
- 2 アンケート欄に記入してください。
- 3 半分に折り内側全面をのり付けてください。
- 4 ポストに投函してください。

Q1 今回の広報おおぶで、文字・色・構成などについて、見やすいと思った記事、見にくいと思った記事とその理由をお聞かせください。(下表の番号を記入してください。複数回答可)

見やすい() 見にくい()

理由

Q2 今回の広報おおぶで、面白い・役に立った記事、そうでなかった記事とその理由をお聞かせください。(下表の番号を記入してください。複数回答可)

面白い・役に立った()
そうでなかった()

理由

Q3 今後取り上げてほしい企画や広報おおぶへのご意見・ご要望をお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

1152

【この号の内容】 ①マンガ広報 ②特集「ごみを減らそう！ ちりつも作戦！ ～減らしてみよう！ 1人1日30㌔～」 ③特集「養育里親になりませんか？」 ④市政NEWS ⑤情報パック ⑥Ellen's Corner ⑦金婚カンコン ⑧みんなにごあいさつ ⑨夢キラリ人 ⑩その他

感謝の気持ちを持って、 つながりを大切に過ごしていきたい



浅田進さん・妙子さん

(79歳・74歳、宮内町)

挙式：昭和42年5月12日

(寄り添い51年)

◆馴れ初めと、当初のお互いの印象は。

【進】知り合いの紹介です。おしとやかできれいな子。

【妙子】最初の印象も実際も、真面目な人です。

◆普段の過ごし方は。

【進】現役時代は、会社員メインの兼業農家をしていましたが、今は退職して、楽しみ程度に夫婦で野良仕事をしています。

◆趣味は。

【妙子】絵手紙を7~8年やっています。友達に送るとすごく喜んでくれて、また作りたくなっちゃう。他にも料理教室や卓球など、いろいろなことを通じて人とつながり合うことを大切にしています。

【進】アマチュア無線歴が約35年。見知らぬ相手とつながり合えるときのワクワクが魅力です。それからインターネット。家の裏に栗の木があるから、この間「簡単な栗のむき方」を検索して栗ご飯を作りました(笑)。来年は渋皮煮にチャレンジです。

◆2人の1番の思い出は。

【妙子】お父さんの還暦祝いで行ったヨーロッパ旅行だね。昔からスイスの雄大な景色に憧れていたんで、うれしかったな。

【進】外国でも日本食が食べなくなって、寿司屋を探して入ったんだよね。

◆互いに感謝することや、仲良しの秘訣は。

【進】嫌いな食べ物でも、健康のためと尻をたたいて食べさせてくれることに感謝(笑)。もちろん、好みに合わせておいしく作ってくれます。

【妙子】互いの協力が大事。お父さんがとっても家庭的でよく気が付く人だからやってこられた。子育ても昔から協力してくれたしね。いつもありがとう。

みんなに ごあいさつ

3歳以下のおおぶキッズをご紹介！

掲載希望の方は広報広聴課へご連絡ください。

広報広聴課 ☎(45)6214



風見 花さん

平成29年11月22日生まれ
憲さん(父) 優さん(母)

毎日お兄ちゃんと仲良く過ごしています。うつ伏せが大好きで、寝返りしてコロコロとどこへでも行けるよ。いつもにこにこ楽しいね。



吉村 茉衣子さん

平成28年9月21日生まれ
修一さん(父) 奈津子さん(母)

3人きょうだいの末っ子で、上のお兄ちゃんたちと毎日車やジャングルジムでアクティブに遊んでいます。最近はおしゃべりが上手になってきて女の子っぽくなってきました。我が家のアイドル的存在です☆

広報おおぶの紙面を飾ってくださる方を大募集！

募集しているのは、「金婚カンコン」「みんなにごあいさつ」「表紙などの読者モデル」。掲載された方には、掲載した写真を、広報おおぶの表紙風に加工してプレゼント。記念に1枚いかがですか？ 詳細は市ホームページをご覧ください。

問い合わせ 広報広聴課 ☎(45)6214



縁の下の力持ちとして欠かせない存在へ

さくらんぼ

9月、公共の福祉増進のため、過去10年以上に渡り、率先してボランティア活動を行っている個人・団体に対して贈られる、平成30年度ボランティア活動功労者表彰を受賞したさくらんぼ。代表の内藤眞理さん(前列右から2人目)は「長い間みんなので実施してきたことが認められたと受賞の喜びを話します。」

知人からボランティア活動を誘われ、志を同じくした複数の団体が一緒にになり、昭和59年4月に発足したさくらんぼ。34年以上の長きにわたり、一貫して「特別養護老人ホーム 愛厚ホーム大府苑」の利用者の洗濯物の整理や衣服の補修などを週4回、ローテーションで実施しています。

発足当初から会員であった近藤悦子さん(前列中央)と加藤しげ子さん(前列右から4人目)は「発足当初の会員は15人程度で、洗濯物の整理などの作業を片付けていくことで、満足していましたが、継続していくことで、施設利用者の期待に応えたいと思うようになりました」と発足当時を振り返ります。そして、今では施設にとって、欠かせない

存在になっています。

この活動のやりがいについて「洗濯物の整理や衣服の補修をした際に施設利用者から『ありがとう』と声を掛けられたときに感じます」と内藤さんは話します。

ボランティアの必要性を訴える内藤さんは「今回の受賞がさくらんぼの活動を市民に広く伝えるきっかけになりうれしいです。私たちの活動は誰にでもできるものなので、一緒に活動してくれる方が増えるといいです」と話します。

今後も行政・施設だけでは賄うことができない部分を支えるため、さくらんぼは「縁の下の力持ち」として、ボランティア活動を続けます。



台風21号の影響で、市内でも多くの地域で停電になりました。テレビが見られず、携帯電話からしか情報が得られなかった方も多かったと思います。そんなときに役に立つのが、TwitterなどのSNS。市でも緊急時専用のTwitterを開設し、避難所の開設などの情報を発信しています。備えあれば憂いなし。ぜひフォローしてみてください(鳥)